

令和6年度（令和5年度分）八重瀬町教育委員会の主要施策に対する外部委員の評価と提言

3名の評価委員の意見を集約し、以下、個別の政策、施策について評価と提言を行った。各番号は、点検・評価表に準ずる。

【点検・評価表の項目について】

現在の点検・評価表の項目について、目的、事業概要、成果、評価、課題と今後の展開、教育委員コメントの項目があるが、今後評価の項目について、前年評価、当年評価と前回の評価がわかるように項目の追加の検討をお願いしたい。

【学校教育課】

前年度と比較すると評価が下がっている事業はあるが、各事業については昨年度同様、成果目標の達成が見られる。引き続き課題については検討いただき、質の向上に努めていただきたい。

I 学校教育の充実

1. 学力向上推進

保幼こ小連携・小中連携の推進事業について、保育園・こども園・小学校の合同での研修会、公開保育、公開授業等を行うことで、各施設のカリキュラムの内容について理解が進んでいるように感じる。

今後も保育園・こども園・小学校のカリキュラムに精通した有識者等の活用によりより良い研修や活動につなげていただきたい。

2. 学力向上支援事業

学習支援員、特別支援員について、年度内での配置率は100%と計画通りの配置が実施できているが、年度当初から配置計画通りの支援員配置ができていない課題がある。

自己都合による退職や採用への課題等があったことは理解できるが、ゆとりある配置を行うことで、学校教諭の補助的役割への人員が確保でき、学力の向上や様々な問題に対応できると考える。年度当初からのゆとりある配置を期待したい。

3. 特別支援員配置事業

上記の学習支援員同様、年度内の配置率は達成しているが、年度当初から計画通りの支援員配置ができていない課題がある。

今後も、募集方法などの検討を行い、人員確保、支援員の質向上に努めていただきたい。

11. 学校給食

新給食センターの計画を与那原町と併用する計画について、2町共同で広域連携学校給食センターを整備実施することで、建設及び運営費用も抑えられ財政的な面も考慮されていると考える。

併用しても、給食の質を担保し、給食センター施設等の整備、調理員の確保し安定した調理体制を整えること、学校給食納付率の向上に向け、引き続き各課連携を図り、今まで以上に効果のある児童、生徒の安心安全な食に繋げてほしい。

【生涯学習文化課】

昨年度まで実施ができていなかった事業についても再開し、事業の充実がみられる。生涯学習はとても重要であることから、幅広い世代が学習できる機会の提供、人材交流、文化財の調査保全等について、これまで同様の広報活動などの取り組みを継続し、生涯学習の充実に努めていただきたい。

II 生涯学習の充実

1. 社会教育の充実

地域学校協働本部事業により学校や地域との連携を強化し、昨今、課題提起のある教師の業務負担軽減にもつながっていると考える。

ボランティアの後継者育成のために、地域の方には実費弁償費をある程度検討してボランティアが増加する環境等についても必要と考える。学校・地域・行政による検討会議等を行い事業が充実するよう検討していただきたい。

3. 公民館運営事業

昨年度より講座・教室数が増加し、参加延べ人数も増加していることから継続的に学習の機会提供ができたのではないかと考える。昨年度まで自粛していた活動についても再開され、参加者が戻りつつあることから、今後も町民のニーズに応えた学習の場の提供とサポート等に取り組んでいただきたい。

4. 図書館事業の充実

図書館事業については、年々充実している考える。今後も、各団体や、保育園、こども園、学校への情報の発信、連携等を行い、さらなる充実を期待したい。

8. 歴史民俗資料館事業

令和5年度は通常通りの資料館の開館、企画展の実施、学校と連携した教育普及・学習支援が実施されている。今後も企画展の実施内容の充実、学校教育との連携について努めていただきたい。

【スポーツ振興課】

令和4年度までコロナの影響で開催できなかった事業についても今年度は実施できているため全体的に評価できる。今後は、就学前（保育園・こども園）の活動についても検討いただきたい。

事業内容について多岐に渡るため、相乗効果が上がるような工夫（事業の統合や見直しによる変更、廃止）が今後、必要になってくると考える。施策については事業を廃止することに抵抗を感じる事もあるかもしれませんが、点検や評価の結果等をもとに事業を統合、廃止することで、これまで以上に事業施策を充実、教育環境の提供ができるのではないかと考える。

引き続き課題については検討いただき、今後も事業推進に努めていただきたい。

Ⅲ 社会体育の充実

16. 八重瀬町子どもカーニバル（第 18 回）

八重瀬町子どもカーニバルや参加者増につながった事業を通して、地域の子ども会が活発になるような展開に繋げる工夫がされていると考える。今後も事業の充実、推進に努めていただきたい。

21. 「夢・未来」スポーツレベルアップ事業

児童生徒の県外派遣支援、トップアスリートによるスポーツ教室の開催について、前後のアンケートによると児童生徒が広い視野を持つことができた目標値の 80%から上回り 100%の結果が出ている。今後も多くの児童が参加、受講できるよう継続し、スポーツに対する意識の向上、技術の向上等に努めていただきたい。